

## 龍体文字との出会い

感染力の強いオミクロン株、急激に広がり、症状も無く抗体のみできている方が、ワクチンの有無にかかわらず、玄関口のチェックでは多くみられました。当診ではインフルエンザのほうが少ないながらも症状が強く出ています。二類感染症指定の見直しも検討され始めました。すべての制限を無くした国も出てきています。

さて、今回は龍体文字についてです。私は（どなたでもそうだと思うのですが）、人生の節目ごとに、大きな出会いがあり、今までは大きな苦しみや悩みの中に、その意味するものを見出し人生の軌道修正や新しい発見につながってきました。第一ムーン・ノードでは死ぬほどの苦しみがあり、そのおかげで今の私が在ります。昨年秋、第四ムーン・ノードを迎えるにあたって、実はワクワクしていました。何が起こるのだろうか、何と出会うのだろうか、と。それが龍体文字でした。日頃から敬服している森美智代さん（難病を克服し、一日、コップ1杯の青汁で、20年以上お元気でご活躍の方です。）の本に書かれてあった龍体文字と出会ったのです。

以前から文字や形をORTで調べてみると、とても良い波動のものでている文字、形があることがわかっていました。逆に悪い波動のものもあります。龍体文字の解説を読んでみて、単に良い悪い、エネルギーがある無し、ではなく、一文字ずつ意味がある、ということに驚きを禁じ得ませんでした。早速自分に試してみました。私はパソコンが苦手で、しばらく続けると肩が痛みます。それも錐で刺されたような痛みなのです。いつもはそこで中止してお風呂に入り、ましになってからまた続けていました。しかし、これは、試すチャンスだと思い、ORTで確認すると、「ふ」「き」「に」がピッタリと合います。森さんの本では痛み、邪気を取り除く力のある文字でした。すぐに紙切れに書いて肩に張り付けて、仕事を続けました。驚いたことに、1分くらいで痛みが消えたのです。その後1時間ほど続けても痛みの再発はありませんでした。この文字の力はすごい、うまく利用したいな、いろいろな方に試してもらっています。

ある時、テニス肘の診断を受け痛み止めの湿布を処方してもらっているが効果が無い、という方が来られました。以前にアレルギーがありましたので、そのために効果が無いのかと思っておられたのですが、ステロイドは無効とでました。カビや細菌、ウイルス、金属の蓄積、ガンでもないし、困って文字を試したのです。ORTで最も適合する「ふ」を持ってもらってしばらくすると、「あ、痛み消えましたわ。」。私も本人も驚きました。子どもさんの付き添いで来ていらした方は、自分の腰痛に文字を使用したところ、とてもよく効いた、と感謝されました。まだ取り組んで数か月ですが、少しずつわかり始めました。アレルギーやガンの場合「ふ」の文字はみんな必要でした。生後3か月の赤ちゃんただ一人除いて。

関心のあるは、森美智代さんの本をお読み下さい。

鈴木富美